

コンテンツ生成幾何学の創出

株式会社サイバーエージェント 松原崇

目的 基盤モデルや生成AIに関わる諸問題を、
それらが形作る意味を幾何学の言葉で定式化して解決する。

内容と結果

- ・ 視覚-言語モデルの埋め込み空間の設計
→ 意味論的木構造とブール代数的構造の創発
- ・ 拡散モデルの注意機構の操作
→ 属性の微調整を実現

利用した計算機 SQUID 汎用GPUノード群
ノード時間 1,000 時間
使用メモリ 60 GB
並列化 なし

